

# 平成 19 年度 財団法人 J K A 補助事業

## 1. 事業名

平成 19 年度

青少年の創造性開発及び知的財産に関する普及啓発等補助事業

## 2. 事業の目的

知的創造活動の活性化と知的財産意識の向上を図るため、青少年を対象とした創作活動の推進や知的財産に関する講習会・国際交流事業を行い、もって機械工業の振興に寄与する。

## 3. 実施事業

[① 青少年等の創造性開発育成](#)

[② 国際発明振興団体連携促進](#)

[③ 知的財産専門人材育成・活用](#)

## 4. 実施内容

### (1) 実施内容

#### ① 青少年等の創造性開発育成事業

##### i) 創造性開発育成に関する取組み

全国の少年少女発明クラブにおいて創意工夫活動を行うため必要な工作資材等を提供し、青少年の自由闊達な想像力を源とした創意工夫活動を通じてモノづくりの楽しさと科学的な考え方、発明工夫の重要性等について啓発を図った。

##### ii) 少年少女発明クラブ全国会議の開催等

全国の少年少女発明クラブの運営及び指導に携わる関係者が一堂に会し、活動成果の普及・還元を図ることを目的とした全国会議を以下のとおり開催した。

開催日：平成 19 年 10 月 20 日（土）～ 21 日（日）

場所：名古屋クラウンホテル（愛知県名古屋市）

参加人数：211 名

内容：山崎教育システム(株)、(株)イーケイジャパンによる教育教材

のデモンストレーション及び各クラブのオリジナル工作紹介を通して、意見交換、討議等を行った。

### iii) 研修会

少年少女発明クラブ指導員の資質の向上を図るため、地域ブロック別に研修会を開催するとともに、都道府県別研修会を全国各地で開催し、各クラブにおける活動状況等の報告、効果的な指導方法等に関する意見交換を行った。当該研修会に参加した人数は以下のとおり。

#### ・地域ブロック別研修会

東北ブロック : 72名(5月31日 福島県南相馬市)  
関東ブロック : 22名(6月14日 東京都港区)  
中国ブロック : 38名(7月12日 山口県山口市)  
四国ブロック : 17名(7月23日 愛媛県松山市)  
近畿ブロック : 34名(7月30日 大阪府大阪市)  
北海道ブロック : 30名(8月9日 北見市)

#### ・都道府県別研修会

富山県 : 20名(4月17日・富山市)  
山形県 : 16名(4月19日・山形市)  
秋田県 : 8名(7月13日・秋田市)  
宮城県 : 8名(8月25日・仙台市)  
大分県 : 16名(8月30日・大分市)  
東京都 : 13名(9月27日・港区)  
岩手県 : 19名(11月2日・盛岡市)  
愛知県 : 30名(1月27日・刈谷市)  
和歌山県 : 15名(2月7日・海南市)  
宮崎県・鹿児島県 : 26名(2月24日・宮崎市)  
千葉県 : 15名(2月27日・千葉市)  
広島県 : 24名(3月12日・広島市)

### v) 広報活動

少年少女発明クラブの活動報告や創作事例等を紹介するパンフレット「少年少女発明クラブニュース」を計6回発行し(No.208~213)、

同クラブ、全国の小中学校・教育関係機関等に配布した(奇数月10日発行、発行部数2万2千部/回)。また、広く一般に向けて同クラブの活動成果の周知普及を図るため、当協会ホームページにWeb版クラブニュースを掲載した。

## ②国際発明振興団体連携促進事業

### i) 青少年創造性開発育成海外交流インドネシア派遣団

当協会が実施した「第65回全日本学児童発明くふう展」において恩賜記念賞及び特別賞を受賞した児童生徒を対象に派遣団を結成し、平成19年11月26日(月)～12月1日(土)の期間、インドネシアに派遣した。

同国では、ジョグジャカルタで開催された第4回世界青少年発明工夫展に参加した。

派遣先での活動の詳細は以下のとおり。

#### [派遣者]

団 長	向山 光幸	(社) 発明協会 専務理事
副団長	和田 健一	(社) 発明協会 地方振興グループ地方連携チーム 主管
秘書長	野原 直仁	(社) 発明協会 発明奨励グループ創造性開発チーム
団 員	萩村 和茂	第65回全日本学児童発明くふう展 恩賜記念賞受賞
	松山 薫	同 文部科学大臣賞受賞
	掛川 将	同 経済産業大臣賞受賞
	穂刈 健人	同 発明協会会長賞受賞

#### [主な行程・派遣先・面談者]

11月26日(月)	結団式(港区虎ノ門 発明会館) 関係省庁訪問(文部科学省、特許庁) 成田発
11月27日(火)	ジョグジャカルタ着 展示準備
11月28日(水)	第4回世界青少年発明工夫展開会式 展示場で作品説明、他国からの参加者との交流
11月29日(木)	ボロボドゥール遺跡視察 展示場で作品説明、他国からの参加者との交流

- 1 1 月 3 0 日 ( 金 ) 同工夫展閉会式  
 ジョグジャカルタ発
- 1 2 月 1 日 ( 土 ) 成田着  
 解団式

## II) 発明奨励国際フォーラム (IFIP) の開催

上記世界展会期中に各国発明奨励団体の代表者が参加して発明奨励国際フォーラム (International Forum for Innovation Promotion (IFIP)) 第4回総会を開催するという合意事項に基づき、IFIP 総会が開催された。

### [派遣者]

- 鈴木 伸一郎 (社) 発明協会 参与  
 清水 俊彦 (社) 発明協会 調査研究グループ研究企画チーム課長

### [主な行程・派遣先]

- 1 1 月 2 6 日 ( 月 ) 成田発 (鈴木・清水)  
 1 1 月 2 8 日 ( 水 ) I F I P 予備会合に出席  
 1 1 月 2 9 日 ( 木 ) I F I P 予備会合に出席・帰国 (清水)  
 1 1 月 3 0 日 ( 金 ) I E Y I 表彰式に出席・帰国 (鈴木)

### [発明奨励国際フォーラム (IFIP)]

- ・日 時：平成19年11月29日 (木) 13時00～15時50分
- ・会 場：タマンピンターサイエンスホール  
 (インドナシア・ジョグジャカルタ市)
- ・出席者：世界青少年発明工夫展の出展団体を中心に日本を含む発明振興団体等8カ国8機関より19名が参加

### 【参加者リスト】

NO.	COUNTRY	ORGANIZATION	NAME & POSITION
1	INDONESIA	Indonesian Institute of Sciences (LIPI)	Dr. Anung Kusnowo Senior Reserch Scientist
2	INDONESIA	Indonesian Institute of Sciences (LIPI)	Ms. Subiyatno
3	INDONESIA	Indonesian Institute of Sciences (LIPI)	Dr. Neni Sintawardani. Head, Bureau for Coop. and Promotion
4	JAPAN	Japan Institute of Invention and Innovation (JIII)	Mr. Shin-ichiro Suzuki Executive Counselor

5	JAPAN	Japan Institute of Invention and Innovation (JIII)	Mr. Toshihiko Shimizu Manager, Coordination Team, Study and Research Group
6	MALAYSIA	Malaysian Invention and Design Society (MIND)	Mr. Neoh Ah Sai
7	MALAYSIA	Malaysian Invention and Design Society (MIND)	Ms. Gauveri a/p Ganapathy
8	MALAYSIA	Malaysian Invention and Design Society (MIND)	Ms. Che Siew Fen
9	NIGERIA	Nigeria Association of Inventors (NAI)	Mr. Prince J. Momudu
10	NIGERIA	Nigeria Association of Inventors (NAI)	Mr. Atayero Aderemi Aaron Anthony
11	NIGERIA	Nigeria Association of Inventors (NAI)	Mr. Sarkin Baki
12	SRI LANKA	Sri Lanka Inventors Commission (SLIC)	Dr. S. Janaka Sri Chandraguptha Senior Assistant Secretary
13	SRI LANKA	Sri Lanka Inventors Commission (SLIC)	Ms. A.C. Karuwitaarachchi
14	TAIWAN	Taiwan Creativity Development Association (TCDA)	Mr. Jon-Chao Hong, Secretary General
15	TAIWAN	Taiwan Creativity Development Association (TCDA)	Mr. Cheng, Mei-yung
16	TAIWAN	Taiwan Creativity Development Association (TCDA)	Mr. Adrian Kee
17	THAILAND	Office of the Basic Education Commission Thailand (OBEC)	Ms. Orathai Moolkum, Director
18	THAILAND	Office of the Basic Education Commission Thailand (OBEC)	Ms. Darakorn Phesiri
19	VIETNAM	Vietnam fun for supporting technological creations (VIFOTEC)	Mr. Le Dang Tho Vice President executive Director

・ 主な内容

同フォーラムにおいては、各国における知的財産をとりまく最近の状況等について意見交換を行うとともに、次年度以降の「国際青少年発明展」の開催地について議論が行われ、2008年は9月中旬に台湾(台北市)で開催することが合意された。

③ 知的財産専門人材育成・活用事業

i) 発明協会知的財産アドバイザー研修

19年度の発明協会知的財産アドバイザー研修を実施するにあたり、

実施概要及び受講者の合否判定等を決定するために3回の「発明協会知的財産アドバイザー人材育成実行委員会」を開催。

開催日：第1回委員会（平成19年4月12日）  
第2回委員会（平成19年10月25日）  
第3回委員会（平成19年12月5日）  
参加者：委員長、委員2名（外部）

この研修は、中小・ベンチャー企業の知的財産を支援する事業者または大学・企業内で知的財産を業務とする方々を対象に、知的財産に関する様々な問題の”助言“や”専門家への橋渡し“ができるよう10日間の研修を実施しているもの。

研修日：東京会場（8月20日～9月28日）  
大阪会場（10月12日～11月20日）  
会場：東京会場（南青山会館）  
大阪会場（発明協会大阪支部研修室）  
受講生：東京会場（24名）  
大阪会場（15名）

## ii) 発明協会知的財産ライセンス・コーディネータ研修

19年度の発明協会知的財産ライセンス・コーディネータ研修を実施するにあたり、実施概要及び受講者の合否判定等を決定するために3回の「発明協会知的財産ライセンス・コーディネータ人材育成実行委員会」を開催。

開催日：第1回委員会（平成19年5月30日）  
第2回委員会（平成19年12月26日）  
第3回委員会（平成20年3月18日）  
参加者：委員長、委員2名（外部）

この研修は、知的財産・特許ライセンスをコーディネートする人材を養成する研修。現在、知的財産・特許技術を”活用“した新規事業の創出や、企業内での事業の高度化をサポートする専門家は、企業内だけでなく、大学TLOなどでも期待されている。

この研修では、ライセンス契約に関する知識だけでなく、特許技術

の評価の考え方を理解し、ビジネスプランの構築や、技術のマーケティングに至るまでの特許技術の事業化に関する実務的なスキルについて少人数の演習形式で10日間の研修を実施する。

研修日：東京会場（9月21日～12月10日）

大阪会場（12月14日～3月5日）

会場：東京会場（発明会館7階研修室）

大阪会場（発明協会大阪支部研修室）

受講生：東京会場（9名）

大阪会場（7名）

### iii) 発明協会知的財産管理コンサルタント研修

19年度の発明協会知的財産管理コンサルタント研修を実施するにあたり、実施概要及び受講者の合否判定等を決定するために2回の「発明協会知的財産管理コンサルタント人材育成実行委員会」を開催。

開催日：第1回委員会（平成19年4月24日）

第2回委員会（平成20年3月6日）

参加者：委員長、委員2名（外部）

※第2回委員会のみ都合により委員1名欠席

この研修は、知的財産分野全般についての知識と実務経験がある方を対象として、中堅・中小企業等に対するコンサルティングや社内での知財体制強化のため、知財管理や知財戦略の構築、知的財産を活用した事業化の手法等について少人数制の演習形式で10日間の研修を実施する。

研修日：東京会場（10月1日～2月13日）

会場：東京会場（発明会館7階研修室）

受講生：東京会場（5名）